

平成 22 年 3 月 9 日

## 維持期リハモデル事業研修会 報告

平成 21 年度維持期リハビリテーションモデル事業による研修会を下記のとおり開催しましたので、下記の通り、ご報告させていただきます。

1. 日 時 平成 22 年 3 月 8 日（月） 13：30～15：30
2. 場 所 複合型介護施設 しおりの里
3. 参加者 片田・美里地域を中心に ケアマネジャー、訪問介護員、ディサービス職員、地域包括支援センター職員、社協職員など 15 名
4. 講 師 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 病院長 園田 茂  
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 作業療法士 宮坂 裕之  
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 作業療法士 登立 奈美
5. 内 容

- (1) 前半は実際の業務の中で介護していて困っていること（特にリハビリとの関係）について、日ごろ感じている疑問点を参加者より意見を出して頂き、講師（園田病院長、作業療法士宮坂、登立氏）の視点での情報提供やアドバイス、意見交換を行った。



<実際の相談内容では・・・>

- ①特に男性の場合、ディサービス、ディケアの必要性をあまり感じていない方への対応。
- ②自発性の少ない重度障害の方へのどの程度の介入をすべきか。（シーティング）
- ③ディサービス利用中の方の身体機能で、膝折れなど日差がある。介護の注意点は？
- ④認知症の方へのリハビリ（歩行）の促し方
- ⑤股関節の痛みがある状態。筋力維持の方法は？
- ⑥パーキンソン病の方の服薬コントロールと活動・リハビリの関係など。

(2) 後半は、作業療法士（宮坂、登立氏）により実技（体験）指導を行った。  
テーマ「トランスファーからシーティングへ」



作業療法士の宮坂、登立作業療法士による実技指導を実施。

ベッド⇄車いすへの移乗動作について、その介助方法の指導と実技体験を行いました。

また、車いすについての構造、マット、クッションの紹介と活用方法について、実際にマットをお見せして、説明と実際にさわって頂きました。

みなさん、熱心に体験され、その場でも  
ご質問され、具体的な意見交換ができました。



※今年度の研修スケジュールは今回で終了となります。  
来年度、同様の研修が開催できそうであれば、ご案内させて頂くことで  
参加の皆様のご了解を頂きました。

以上

記録：事務局 七栗サナトリウム 下村